

平成26年度市町村議会議員研修（5日間コース）

『新人議員のための地方自治基本コース』に参加した所感

古西 祐子

私たち新人議員6人は、平成26年5月12日～16日の4泊5日の研修に参加した。このような議員研修参加は私自身初めてであり、しかも長期間であるため期待と不安を持ちながらの参加であった。

研修では、議員としてのまず押さえておかなければならない基本的な分野を、第一人者の講師陣から幅広い見地で示され、有意義かつ有益であり、そして刺激を受けた5日間であった。

議員の使命について考えるに当たり、地方自治とはという大原則から講義がスタートした。大杉寛首都大学東京教授「地方自治制度の基本について」の話に触れ、戦後の民主主義を支える大きな役割を憲法で定められ、地方分権の推進から、国と地方との関係が上下・主従から対等・協力へと転換し、地方自治が求める事の大切さを感じた。

地方自治には、団体自治と同時に住民自治の役割を背負っており、自分たちのことは自分たちで決めるという自律の原理が貫かれており、住民が主役の町づくりが欠かせないと受け止めた。

特に今の人口減少時代には、誰もがリーダーであり、議員はそれを後押しするという考え方に、町それぞれの力量が問われると感じると共に、閉塞感から抜け出す可能性も感じた。

総務省行政課の田中良斉地方議会企画官からは「地方議会制度について」聞いた。地方分権の進展を見据え、地方自治体が大きな変容を迫られ、地域の個性を活かした新たな都市像を描く必要性を指摘され慣例にとらわれない柔軟な発想の大切さに気付かされた。地方議会の役割がこれまで以上に重要になってくるという認識を議員自身も謙虚にそして強く持つべきと感じた。

新潟県立大学国際地域学部の田口一博准教授の「地方議会改革の課題と議会制度」と題したその講義は特に興味深く、テキストに載っていないような具体的で実効的な内容が多く、大いに刺激を受けるものだった。

議会の会議はロバート議事法に則って進行するという話、自分の町の今までの会議録はよく読んでおくことが大切、おもしろい議会だよりをつくること、子ども議会、証人・参考人・公聴会、通年議会など、私たち議員が日々直面する事象に関する具体的な話が渡世術的に聞け、当市においても生かせるアイデアが多いと感じた。また、改革のキーパーソンは議長であるとの言葉は特に記憶に残った。

町の将来プランを考える時、証拠（データ）に基づいた議論をしていくという基本的な考え方を学んだ。

議員が果たすべき仕事の一つに、条例づくりがある。原田賢一郎北海道大学教授の「地方議員と政策法務」と題した講義は、議員提案の条例を作り上げる際の、考え方

やプロセス、ポイントなどがわかりやすく説明された。また、政策実現手段として、積極的に条例制定をしていくことの重要性を説かれた。議員として、西脇市のためになる西脇市独自の条例づくりに一度は携わってみたいと感じた。

条例演習として、代表的な5市（栗山町・福島町・川崎市・田川市・四日市市）の議会基本条例を題材に、7人程度の班編成で各市町の条例を細かく分析し、意見を交換した。初めてするこの作業で、条例に対する認識が身近なものに変わったように思う。また、他の市町の議員の方たちとの話し合いを通じて、いろいろな見方、各市町による事情の違いや共通点など、同じ議員という立場だからこそその忌憚ない話ができただけで、交流が深められた点は、今回の研修で一番良かったことではないかと思う。

地方公共団体金融機構の緒方俊則地方支援部長の講義「地方自治と自治体財政」では、予算・決算、歳入・歳出、財政診断など、財政に関わるお金に関する話に、丸1日の時間が割かれた。議員として、お金の流れに厳しい目を向ける必要があり、そのために財政に関する知識の習得の重要性をひしひしと感じた。また一方で、その難解さ故に私自身真の理解には程遠く、今後もまだまだ財政の勉強をしていかなければならないと感じる。経済が右肩上がり、税収も増加の一途をたどった昔と違って、議員も自治体の財政運営のあり方に深い関心を寄せ、適正な執行に向けてチェックをしていくためにさらなる研鑽が必要だ。

締めくくりで、中島忠能・元人事院総裁の講義「分権時代の地方議会に（議員）に期待されていること」では、議員としての考え方や、モラルなど、これまでの講義にはなかった、議員としての心の在りようや姿勢が示された貴重な内容であった。地方分権の改革により、国から県へ、県から市へ権限が移ってきている昨今、選挙において、議員報酬の減額や、定数削減をうたい文句にすることに警鐘を鳴らしている。住民ニーズの複雑化、多様化の中、住民の声に十分耳を傾けること、また議員同士がとことん議論することなど、当たり前のことではあるが、それがいかに大切かということを改めて認識させられ、胸に響く言葉の連続であった。

この研修の参加者がみな新人議員であったという点は、初めてこのような研修に参加した私にとって、幸運だったと思う。議員歴約2ヶ月の方から3年数ヶ月の方まで、新人といっても経験年数や経歴に違いはあったが、他市町の議員と直接交流を持てたことは、得難い経験であったと思う。

この度の研修を、今後の議員活動に活かしたいと思う。研修に参加させていただきありがとうございました。